

社会貢献活動として清掃ボランティアを実施

シルバー人材センターは、社会貢献活動を事業の一つとしており、地域ボランティア活動を進めています。

平成29年度の活動実績は、10の地域で61回のボランティア活動が実施され、930人の会員が参加しました。清掃活動は年間4・5回から20回程度計画され、活動は毎月決められた曜日に実施されています。例えば、毎月第3土曜日に、又は偶数月の第3木曜日などに決められ、雨天の日を除き実施されています。

こうした地道な地域貢献活動の実施により、シルバー人材センターは地域社会と連携しながら、活動内容を広く市民にアピールしています。

中央地域ボランティア清掃

くらやみ祭りの余韻の残るけやき並木周辺で、中央地域ボランティア清掃が5月11日(金)午前8時45分から実施されました。

参加者の13名が、駅階段下の倉庫から清掃資材を出してきて、一帯の清掃に携わります。駅西方面は7名が京王線の北側側道から府中街道まで出て、さらにコナミの



上:清掃活動風景
下:活動の参加者

交差点からけやき並木に向かう広範囲に及びます。駅東方面は残りの方がけやき並木からフォーリス、駅のバス停周辺まで約1時間の活動を行います。歩道や植え込みから、ごみ、たばこの吸い殻、ペットボトルなどを火ばさみで拾い、ごみ袋に収容します。1時間で袋が一杯になります。

ボランティア責任者の芝辻理事から、「約12年前から、毎月1回実施。人通りが多くて危ないので、長い竹ぼうきなどは使用しない。各地域のボランティア活動が活発になり現在は15人程度だが、以前の20名位の参加者が増やしたい。退会者もいるので、懇談会等で新入会員の参加を促している」等の抱負を伺いました。

住吉地域ボランティア清掃

薄曇りの5月19日(土)、住吉地域月例ボランティア清掃が、午

前8時から実施されました。

7時半に地域班長の役員さんが住吉文化センターに集合し準備を進める中、23人の会員の方が参加しました。8時には古谷地域班長が「暑くなるので身体には十分気を付けましょう」と挨拶し、住吉町、南町、分梅町の各地区に散って、清掃活動が始まります。

「1時間で良い運動になる。たばこの吸い殻が多い、マナーを考えよう」との声が挙がります。

地域委員の笹川雄司さんにお話を伺いすると、「5・6年前からボランティア活動を毎月第3土曜日に実施し、既に78回目になる。朝早いのは、夏場の暑さとその日の後の活動を考えている。ボランティアなので強制できないが、何とか30人位に増やしたい。メール便に『30名目標に頑張りますよ』と書いて送っています」と抱負が語られました。

初代の責任者であった川中地域班長からは「シルバーが公益社団法人になったとき、『地域活動を盛んにしてシルバーをアピールしてほしい』と現会長から要請があった」などのこぼれ話をお伺いしました。



住吉地域のボランティア清掃の参加者の皆さん

白糸台地域ボランティア清掃

梅雨の晴れ間の6月9日(土)、白糸台地域ボランティア清掃が、午前9時から実施されました。

8時50分に府中市立第6中学校正門に集合し、第6中学校周辺、隣接する押立公園北側を中心に、23人の会員の方が参加して、暑さの募るなか清掃活動に汗を流しました。

ボランティア清掃のごみはそれ程出ませんが、暑い中集まった会員と話し合いが進められました。地域委員の八島敦子さんは、「今後、地域懇談会には多くの会員が集まってほしい。どのような議題で、どのようにすすめるらうか。シルバー本部から、ボランティアをもっと増やしてほしいとの要請があり、どのような工夫が必要か」などを、力説していました。